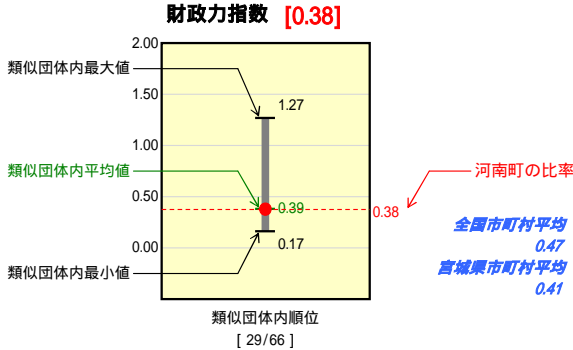


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

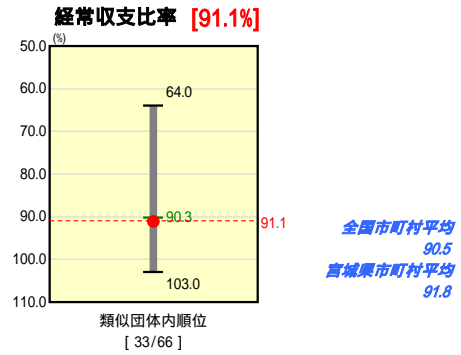
宮城県 河南町

人口	17,890人(H17.3.31現在)
面積	69.33 km ²
歳入総額	13,329,733千円
歳出総額	11,998,332千円
実質収支	1,331,401千円

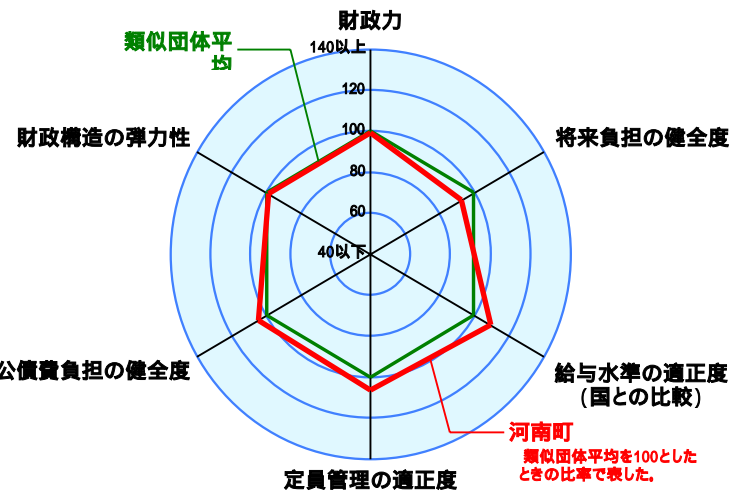
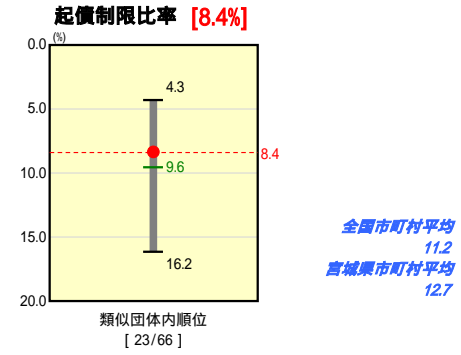
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
・ 基準財政需要額のうち投資的経費が減少したため、基準財政収入額が増加したのではない。

経常収支比率
・ 三位一体の改革に伴う保育所運営費負担全等の廃止により、前年度まで経常特定財源として収入していた財源の減少による相対的な経常経費充当代一般財源の増、経常一般財源(特に普通交付税及び臨時財政対策債)が大幅に減少したため。

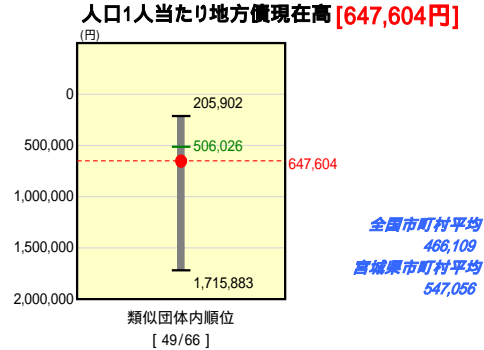
起債制限比率
・ 類似団体平均を下回っている。主な要因としては、災害復旧費等に係る基準財政需要額に算入された公債費(特に臨時財政対策債)、事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費がそれぞれ増加したためである。しかし、平成20年度に償還がピークを迎えることから、上昇するものと思われる。

人口1人当たり地方債現在高
・ 類似団体平均を上回っている。主な要因としては、多目的ふれあい交流施設整備、宮城県北部連続地震災害復旧事業、義務教育施設整備等である。なお、これらの償還については、平成20年度にピークを迎えることとなる。

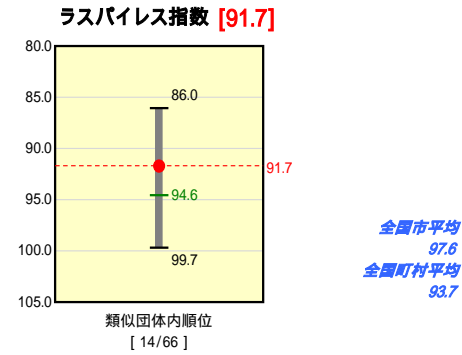
ラスパイレス指数
・ 類似団体平均を下回っている。職員構成で経験年数の長い職員の減少と昇給の延伸の実施が主な要因となっている。

人口1,000人当たり職員数
・ 類似団体平均を下回っている。平成11年度に定員適正化計画を策定し、平成16年4月1日までに定数201人の5%である10人の人員削減を目標としたが、平成13年4月1日に目標(定数191人)を達成した。さらに、平成17年3月31日には185人となった。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

